

|    |    |     |     |      |    |    |   |    |   |    |    |    |   |        |
|----|----|-----|-----|------|----|----|---|----|---|----|----|----|---|--------|
| 00 | 09 | 03  | 002 | 永年保存 | 起案 | 平成 | 年 | 月  | 日 | 決裁 | 平成 | 年  | 月 | 日      |
| 議長 |    | 副議長 |     | 事務局長 |    | 次長 |   | 主査 |   | 主査 |    | 担当 |   | 文書取扱主任 |

## 第2回 新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会 会議録

|  |                                    |           |           |
|--|------------------------------------|-----------|-----------|
| 開催年月日                                    | 平成20年10月21日(火曜日)                   | 開会：13時29分 | 閉会：14時36分 |
| 開催場所                                     | 第一委員会室                             |           |           |
| 出席委員                                     | 山腰、荒木、酒井、関藤、本間、山口、大谷、堀             | 事務局       | 田湯次長      |
|  | 委員外議員～井上                           |           | 寿崎主任主事    |
| 欠席委員                                     | 窪之内                                |           |           |
| 説明員                                      | 別紙のとおり                             |           |           |
| 議件                                       | 別紙のとおり                             |           |           |
| 議<br>事<br>の<br>概<br>要                    | 1 所管からの報告事項について                    |           |           |
|  | 次の事項について所管から説明を受け、質疑を行いすべて報告済みとした。 |           |           |
|  | (1) 滝川市の課題と方針について                  |           |           |
|  | (2) まちの活力再生について                    |           |           |
|  | (3) 改革と改善について                      |           |           |
|  |                                    |           |           |
|  | 2 その他について                          |           |           |
|  | なし                                 |           |           |
|  | 3 次回委員会の日程について                     |           |           |
|  | 10月28日(火)13時30分から開催することに決定した。      |           |           |
|  |                                    |           |           |
|  |                                    |           |           |
| 上記記載のとおり相違ない。 新滝川市活力再生プラン調査等特別委員長 山腰修司 印 |                                    |           |           |

平成20年10月20日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会への説明員の出席について

平成20年10月14日付け滝議第118号で通知のありました新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願ひします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願ひします。

記

滝川市長の委任を受けた者

|             |         |
|-------------|---------|
| 副市長         | 末 松 静 夫 |
| 総務部長        | 高 橋 賢 司 |
| 総務部総務課長     | 伊 藤 克 之 |
| 総務部総務課副主幹   | 佐 藤 之 俊 |
| 総務部企画課長     | 館 敏 弘   |
| 総務部企画課副主幹   | 田 中 嘉 樹 |
| 総務部財政課長     | 吉 井 裕 視 |
| 総務部財政課主幹    | 堀 下 博 正 |
| 総務部財政課主査    | 景 由 隆 寛 |
| 総務部行政経営課長   | 五十嵐 千夏雄 |
| 総務部行政経営課副主幹 | 浦 川 学 央 |

(総務部総務課総務グループ)

## 第2回 新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会

H20.10.21(火) 13時30分  
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員動静

1 所管からの報告事項について

(1) 滝川市の課題と方針について

(資料) 行政経営課

(2) まちの活力再生について

(資料) //

(3) 改革と改善について

(資料) //

2 その他について

3 次回委員会の日程について

10月28日(火) 13:30 第一委員会室

○ 閉 会

開 会 13 : 29

### 委員動静報告

委員 長

窪之内委員欠席。委員外議員～井上。空知新聞社、北海道新聞の傍聴を許可。最初に副市長から話をいただく。

副市 長

病院の改築が進み駐車場の関係で迷惑をかけているが、しばらくの間は許していただきたい。スムーズな形で運営するよう努めていきたいと思うので、よろしく願います。きょうは前段でおわびとして参上した。特別委員会を6月議会で設置していただき、第1回を7月9日に開催して以来、期間が経過したことをまずもっておわびをする。この間、財政健全化4指標の分析、市民会議や事業仕分けによる評価、意見を受ける中で、各部の内部議論とヒアリングを経た。アクセルとしての活力再生の重点方向、またブレーキとしての改革をどのようになし遂げていくかが大きな柱となった。これまでタッグ計画の推進により平成19年度決算での4指標については良好だったが、今後は連結実質赤字比率、将来負担比率を念頭に置いた財政運営が一層重要になると思う。赤字の解消や財政健全化に向けて実効性のある改革プログラムが、現時点でどれだけ進んでいるのか、またどう進めていくかが大きなポイントとなると思う。これから総務部長以下で全体のイメージの説明をさせていただき、事業の具体化については相手との交渉途中のものや詰めが残されている点もある。課題が内包していることも含んでいただき、委員の皆様のさまざまな視点や指摘を得ながら成案化していきたいと思っている。今後の議論展開のたたき台でもあり、これをやらなければ自治体運営は厳しいとの意識も持っている。市民の皆様に信頼される市役所づくり推進プランの中でも示しているが、職場内ミーティングの徹底、各部の運営方針と目標設定管理業務計画の進行管理を図る上で、各部長のリーダーシップのもとで進める必要があるとの意識も持っている。当然全体経営に関しては、リーダーシップを発揮しなければならないという点は、十分に踏まえているところでもある。以上を申し添えておわびと取り組みの視点への考え方を述べさせていただき、私からのあいさつとさせていただく。今後もよろしく願い申し上げます。

委員 長

委員会の進め方だが、昨日正副委員長と所管で打ち合わせをした。これから精力的に委員会を進めていかなければ、次年度の予算編成に反映できないということは各委員の皆さんも心得ていただいていると思う。手元に3枚の大きなプリントが配付されているが、きょうの委員会では、これを総括的に説明していただき、その後幾つか質疑を受ける。次回の委員会は28日を予定しているが、その委員会から正式に項目分けをし、所管ごとに説明、質疑をしていただこうと考えている。皆さんが必要とする資料があれば、きょうの説明、質疑の後、まとめていただきたい。所管に諮りできるだけ資料を提供しながら進めていきたいと思っている。進め方についてはよいか。(よし)

#### 1 所管からの報告事項について

委員 長

所管から説明願う。

五十嵐課長

前段、副市長からもおわびの言葉があったが、私も7月9日に第1回の特別委員会を開催し、その後本日まで開催できなかったことについて非常に申しわけ

なく思っている。この間の経過については副市長からも話があったが、私からも補足的に説明したいと思う。7月25日までに各部から改善案を出していただき、7月中にまとまる予定だった。言葉が適切かどうかわからないが、今までも行革に取り組んできた状況から改革疲れのようなどころがあり、期日までに集まったが、事務改善的なものが多く、また目標額に達していなかった。そのため8月は内部調整に費やし、改革の項目等について所管と調整をした。9月に入り、延べ7日間にわたり副市長協議、ヒアリングを行い、先週の15日を締め切りに新たな改善案をまとめた。第1回の特別委員会のときに今回の改革のフレームについて説明したが、目標額が3億5,000万円。そのうち事務事業で1億3,500万円。先週末に改善案を出していただいたところ、現時点ではその最低ラインを突破している。今後精査し、さらにこの特別委員会でいろいろと議論をいただく中で変わってはくと思うが、現時点では目標額に到達している。この内容についての第1段の精査を今週行い、来週の第3回の特別委員会にはその精査したものを報告したいと思っている。本日の特別委員会では手元の資料に基づき、次第にも書いてあるとおおり、全体の考え方と活力再生の部分、改革と改善の部分の3点で説明をする。

**(1) 滝川市の課題と方針について**

浦川副主幹 (別紙資料に基づき説明する。)

**(2) まちの活力再生について**

浦川副主幹 (別紙資料に基づき説明する。)

**(3) 改革と改善について**

浦川副主幹 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わった。具体的な数字などについては、前段も申し上げたとおり次回の委員会から進めるが、大まかな部分において何か質疑はあるか。

酒 井 次回の委員会から具体的な話になるということだが、委員会として確認しておきたいのは、例えば保健福祉部のこの分野において議論を行うということなのか、もしくは一つ一つの項目についてやっていくのか。ある程度そのめどがついていると思うので、次回委員会で結構なのでフローみたいなものを示してもらえれば、非常に議論しやすくなると思う。その辺を伺う。

五十嵐課長 その点については、私どもも必要だと思っている。本日は出せないが、何日が何部というような形で、今後の提案スケジュールを示したいと思っている。

委員長 他に質疑はあるか。

本 間 各所管から説明をいただけるのは非常にいいことだが、全体のバランスがポイントだと思う。現状としてわからないのは、1億3,500万円をとりあえず事務事業として超えたという説明があったが、どのような格好で超えたということなのか。何と何に関して幾らなのか。ここに書かれている内容の中で、どの事業がどの金額でカウントされているのか。そうしたことをまず示していただきたい。また金額を示した上で所管の説明をいただくのは必要なことだが、こういう分野の削減はどうなのか、こういう部分が抜けているのではないかと、こういうところはもう少し力を入れたらいいのではないかとといった全体的な論議が必要だと思う。どちらが先かという問題はあるが、この事業は残し、違うところをもっと減らしたらいいのではないかと、こういった論議をしなければ、各所管と話してもその辺のところはあぶり出されてこないのではないかと思う。その辺の考えを伺う。

委員長 最終的にバランス云々ではなく、いかにこのタッグ計画を成功させるかという

ことである。手法として、当面所管が検討している項目を並べ、相対的にどうで、具体的にこうであるというものに対して、この委員会としては全体を諮らなければならない。全体を先に見るのがいいのか、個別に見るのがいいのか、それは皆さんの手法としていいほうを選べると思う。

本 間

例えばこの中に行政パートナー制度の運用とあるが、どういう施設、どういう事務事業に対して効果額をカウントしているのかわからない。どこそこの指定管理を考えていると。それであればこれもやったほうがいいのではないかと。いった論議をするべきだと思う。また行政資産の見直しについても、もっとやめてしまったほうがいいものもあるのではないかとか、そういう論議のできる場はどこになるのか。それをしないと先に進められないと思う。

委員 長

皆さんはどうか。

堀

必要だと思う。

酒 井

総括的なことは必要だと思う。具体的なものをやった後に総括的なものを挟むとか、そういったことをやったほうがいいと思う。

委員 長

きのう事前打ち合わせをした中では、とにかく相対的な数字ができあがっているの、それに対して説明を受け、それを見直し、手直しをしていかなければならぬだろうと思っている。次の委員会でそれが出るので、それを踏まえた上で進めるということによいか。

副委員長

そういうイメージとは違うと思う。

五十嵐課長

全体を示していただきたいとの話だが、この1ページの全体で3億5,000万円が足りないというシミュレーションをした段階では、まちの活力再生のある程度の部分は盛り込んだ。改革とカイゼンの中でそれを捻出しようと考えた。今の活力再生の部分ではこの4本柱を重点的にやっていきたいと考えている。そのために何を重点的に改善するのかは、昨年から市民会議で議論をしていただき、さまざまな意見をいただいている。それを集約したものが、ここに書いてある。こういったものを中心に改革と改善をやっていきたい。特に今回は、これまで手をつけてこなかった施設の廃止、統合、譲渡まで市民会議の意見を取り入れ、そこまでメスを入れようとしている。それについては見直しの方向性みたいなものを5ページの行政資産等の中に5点項目を示してある。こういった点を参考にしながら施設のほうも見直しをかけて、今回主なものを挙げている。削減については20年度の予算編成方針のときに、各課4%削減ということでお願いをしており、その継続をしている。20年から3年間の改善計画である。21年、22年、引き続き4%を改善していただく。各課はこの全体イメージの中で、割り当ての削減目標額を策定したということである。

副委員長

余り遠回しに議論をするとわけがわからなくなる。前回の特別委員会の資料では、市民会議の経過報告、まち懇の経過報告、調整案がこうなったということで説明をするということだった。多分本間委員がおっしゃっているのは、例えばこの中で社会教育施設等の見直し案が所管から説明される。それに対してこれもやったらどうだろうというものを取り入れる素地があるのかということを知っているのだと思う。

五十嵐課長

これからの進め方として、部ごとに提案をする予定である。その所管の中で提案以外のものもあれば、意見を賜りたいと思っている。

委員 長

ほかに何か意見はあるか。

本 間

そのことはわかったが、その前に特にこの4ページに書かれているそれぞれの効果額などがわからないとそこに臨んでいけないと思う。総体像として自分な

りに3億5,000万円を組み立てても、それぞれの部の方が来て、別々の方に言わなければならない。できれば数字を先に示して欲しい。また前期のタッグ計画のときも努力目標みたいなものが結構入っており、確定ではないものもある。確定ではないために数字がクリアできない。そういうものが繰り返されたと思う。この中にも例えば市税向上対策などが入っているが、これを目標効果額として考えているのであれば、これは確定の数字ではないのかもしれない。我々もそういったいろいろなことを考えて発言をしていきたい。それには先に論議できる前提がないとそういう話にならないと思うが、いかがか。

委員長

このことについて、休憩して意見をいただく。

休憩 14:16

再開 14:19

委員長

再開する。次回の委員会で総括的な数字を含めて説明を願い、それから部分的なことに入っていくことでよいか。(よし)

他に質疑はあるか。

山口

3ページ、6番目の全体のイメージについてだが、まちづくりの計画を立てるときは人口の予想がついている中で行うのに、全体イメージに人口維持(増加)と書く自体が市民に見せたら恥ずかしいことだと思う。人口減少という数字をつかんでいるので、最低でも人口減少(維持)くらいなら許せると思うが、その辺の考えを伺う。今の段階で出ている分にはいいが、そういうスタンスでやっているのかというふうに見られる。中身の議論がその程度のもので思われないので、ぜひ再検討をしていただきたい。

五十嵐課長

確かに増加という言葉は余りにも目標が高過ぎるかもしれない。維持というのは人口推計からするとかなり難しい感じに思えるが、まちづくりをやっている人間としては、マイナスを目標にというよりはせめて維持を目標にしたいという気持ちだけはある。増加というのは目標が高過ぎ、現実的には難しいかもしれないが、維持するという目標を立ててやらせていただければと思っている。

山口

目標としてはわかるが、現実を把握しているのだろうかと思われる。このことでタッグ計画の進め方について市民からどう見られているのかがとても気になる。職員の方も痛みを伴ってやっているので、現状人口は減少に向かうが、何とかよりよいまちづくりを進めているというふうにやってほしい。

館課長

皆さんも知っているとおり、この将来推計でいけばこのまちはおかしくなってしまう。住んでいる皆さんが豊かな暮らしをするにはどうしたらいいかなど、市民目線で考えたときには人口がないとこのまちはやっていけない。そういったことから目標として必要ではないかということで描いている。現状認識は常に考えている。4ページの話になるが、経済施策、子どもに対する施策、学校教育の充実、病院・医療の改善の4本柱があり、こういう重点施策でこのまちをどうしていくのかを考えなければならない。一方でこのまちは儲けなければならない。このまちが儲けるにはどうすればいいのか。例えば教育で儲けることができるかもしれない。また一般的に経済活性化を一番最初に考えるところだと思うが、これは町場の方が一生懸命やっているもので、これをどう伸ばしていくのかなど、人口の維持、少しでもいいから人口の増加を目標にして豊かなまちをつくっていかなければならないというのが、企画課としての目標である。他に質疑はあるか。

委員長

本間

子どもに対する施策や学校教育の充実が、人口をふやす、住みたくなる、子育てしやすいということだときっと言いたいのだと思うが、やはりもっと人口を

- ふやすためにどうしたらいいのかということが入っていないと、だめなのではないかと思う。答弁は知らない。
- 委員 長 他に質疑はあるか。
- 副委員長 山口委員の質疑で気になった。この資料をまち懇に出すのか。まち懇とのかかわりを少し説明願う。
- 五十嵐課長 まちづくり懇談会は、11月6日から27日までの間に開催される。この新タッグの関係について、今の予定では市からのお知らせという形で報告をする予定となっている。きょう説明したものを市民向けにわかりやすい形につくり直し、それに基づき全体像、改革のための改善額、内訳というものをラフな形ででも示せたらいいと思っている。今後、議論が進むことで、市民の皆さんに直結するようなサービスの削減や影響するものが多いに出てくると思う。予定では、ことし中にある程度素案をまとめて、来年1月から2月にかけて市民周知の時間をとっているので、必要に応じて市民説明会などを設け市民理解を得ていきたいと考えている。
- 委員 長 他に質疑はあるか。
- 井上委員外議員 事務方のやっている計画のように見えるが、これでいいのだろうか。4ページでは畜産試験場跡地の活用というのが大きくクローズアップされているが、まだまだ外に向けた再生の視点というのがあるような気がする。ここにキッズキャンプも入っていない。こういう非常に厳しいとき、滝川市が中空知の中核都市の位置づけとして土地利用の問題などの規制緩和をすることでいろいろと発展することがあると思う。事務方の意見としてはこういうことなのかもしれないが、もっと違う視点を持ち、国や道との関連の中で人口もふえていくと思う。地方再生という新しいことも出てくるので、そのときにそれにどうやって乗っていくのかということも大事である。その辺の国の動きや流れの中で滝川市がどのようにやっていくのかという視点も持たなければならないと思う。それと行財政改革についてだが、これはいいことだと思う。今までなかなかできなかった。マズローの法則からすれば、低いところもあれば教育や医療などの重要性の高いものもある。大胆に改革をして収支改善もしなければだめだと思う。その辺の視点をがっちり持ってやっていただきたい。
- 委員 長 他に質疑はあるか。(なし)
- (1)から(3)について報告済みとする。
- 2 その他について**
- 委員 長 何かあるか。(なし)
- 3 次回委員会の日程について**
- 委員 長 次回の委員会については先ほどの方向で進めたいと思うが、特に必要な資料はあるか。
- 井上委員外議員 少し追加させていただきたい。具体的な問題として、普及所の統合問題、畜産試験場の廃止問題、工業高校の問題、こういうときにはがっちり滝川市は関わらなければならない。そういう姿勢の中でどう国を揺れ動かすかの方針を立てなければならない。現実人口は減る方向になっている。名護市はそういうときにそれをてこに新しいインフラなどをやってきている。その辺の感覚が大事だと思う。
- 委員 長 では次回の委員会は先ほどのような形で進める。その次の委員会についてだが、市民クラブが行政視察に出るので、来月は7日以降の開催を予定している。以上で第2回新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会を閉会する。

閉 会 14:36